



熊野町立熊野第一小学校  
令和2年 4月 22日  
校長 平岡 弘資

## 今こそ みんなできずなを大切に！

校長室から見える桜もすっかりと葉桜になりました。新年度がスタートして3週間が経ちました。現在新型コロナウイルス感染拡大による非常事態宣言が出され、日本中が混乱しています。熊野第一小学校では、マスクの着用、うがい、手洗いの励行、3密を避けるなど感染防止に気をつけ、4月6日学校再開し、7日には新入生を迎える入学式を行うことができました。就任式、始業式は運動場。子供たちとの初めての対面に緊張と嬉しさで久しぶりにドキドキしました。その後は朝の挨拶運動、休憩時間として授業時間、熊野第一小の子供たちの素晴らしい姿にたくさん出会うことができました。私のモチベーションは最高潮！唯一のストレスは子供たちがマスクをしているのでなかなか顔を覚えられないこと。そうした中で全国への非常事態宣言の発出を受け、4月16日から再度の臨時休業となりました。その後も1週間に1度設けていた登校日も中止に。私自身これまでに経験をしたことのない事態に正直戸惑っています。まさに解のない問題に取り組んでいるようです。あれこれ考えていうちに、これってここ数年学校で取り組んできた「学びの変革」のコンセプトと同じことに気がきました。今後の先行き不透明な時代を生き抜く子供たちには、解のない問題に自ら主体的に取り組み、協働しながら問題解決していくことができる力、資質能力を付けていくことが求められています。まさしく今私たちが直面している問題解決に必要な力です。状況は日々一刻と変わっています。私たちが取り組むべきことも日々変わることが多いのですが、私の中で最優先に考えたいことは「子供たちの命を守ること」です。このことを第一に考え、子供たちの様々な成長に向けた取組を行いたいと思います。しかしこれには学校だけでは限界があります。今こそ、保護者、地域の皆様など熊野第一小学校に関わる全ての皆さんと学校が強いきずなを結んで対応していくことが大切であると考えます。これからの行事等について予定や中止、延期について記載していますが、状況により変更する可能性があります。その際には速やかに情報メールにてご連絡します。今後も何卒ご協力とご支援をお願いします。



最後に、わずか1週間半の子供たちとの関わりの中で私が感動した場面を2つ紹介します。

一つ目、熊野第一小は門が3つあり、それぞれから子供たちが登校します。毎日違う門で子供たちを出迎えています。東門での話。子供たちはよく挨拶をしてくれます。こちらもちよくなります。その中で、低学年の女子がやってきました。女子「おはようございます。」私「おはようございます。」その後です。頭を下げながら女子「お願いします。」これには感動しました。私「頑張っ



ね。」女子「はい！」気持ちのよい返事。挨拶だけでなく、感謝の気持ちをもったの登校。朝から嬉しくなりました。

二つ目。感染には気を付けながらも、子供たちもストレス発散が必要。大休憩、昼休憩には運動場で元気に遊んでいます。私も運動場に出て子供たちと鬼ごっこやサッカーをしました。サッカーではゴールの中でシュートされたボールを止めていました。5年男子の強いシュートがきました。5年男子「僕はさっき校長先生に暴言を吐いてしまいました。ごめんなさい。」私「うん？なんかあったっけ？」5年男子「校長先生にシュートを止められて、まじか！と言ってしまいました。ごめんなさい。」私「全然気にしていないよ。謝ってくれてありがとう。」自分で振り返って自分の言ったことを反省し、謝りに来てくれました。自分を振り返る力がすごい！まさに成長が実感できた瞬間！